

デザイン作品 学びの成果 松山で専門学校進級・卒業展

河原デザイン・アート専門学校(松山市二番町1丁目)の進級・卒業展「KAWAHARA design collection 2024」が17日、同市湊町5丁目のいよてつ高島屋で始まり、4学科の生徒たちが学びの成果を詰め込んだ映像作品や広告、漫画、建築模型など約470点が並ぶ。18日午後4時まで。

「海」をテーマにしたプロジェクションマッピング作品では、映像を投影するキャンバスにプラスチックなどの海洋ごみを再利用した。文字や図柄を立体的に浮かび上がらせたポスターや、親子で楽しめる知育グッズなど、細部にまでこだわった力作が来場者の目を引きつけている。

グラフィックデザイン科の

卒業制作テーマは「興居島」。島の形が5時5分を指す時計の針に見えることに着想を得た辻彩花さん(20)は、美しい海や特産品のレモンをデザインに盛り込んだ「興居島時計」を完成させた。「仲間と意見を出し合いながら作った思い

出深い作品。自分の成長した姿を家族に見てもらえてうれしい」とにっこり。県内の印刷会社に就職することが決まっており「愛媛の魅力を発信できるデザイナーになりたい」と意気込んでいた。

(中田佐知子)



河原デザイン・アート専門学校生の力作が並ぶ進級・卒業展—17日午前、松山市湊町5丁目